

大切なお子様に贈る、おひなさまのお話。

贈り
ましょう。
その子
だけの、
お人形を。



お人形は、
お子様の
成長を願う
「お守り」です。

Q&A
つき

は じ め に



ご出産おめでとうございます。

春を呼ぶ桃の節句にはひな人形を飾って、

女の子が美しく優しく育つことを願う。

ルーツは千年もの昔にさかのぼるという

ひな祭り。

災いを祓う儀式から

女の子の楽しいお祭りへと変わっても、

わが子の成長を祈る心は

今も昔も変わりません。

そしてその心こそが、

いつまでも伝えていきたい

日本の生活文化といえるでしょう。

目次



第一章・なぜひな人形を飾る？ひな祭りのはじまり	… P 3
第二章・意外と知らないひな人形のルール	… P 5
第三章・ひな人形を買う前に	… P 9
第四章・ひな人形を選びましょう	… P 12
第五章・ひな人形は、何歳まで飾るもの？	… P 14
第六章・ひな人形のお手入れ	… P 16
Q & A	… P 18



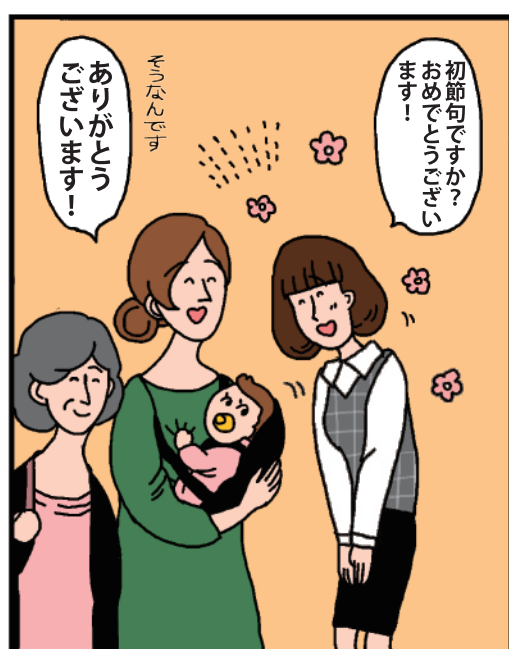
＊ 第一章

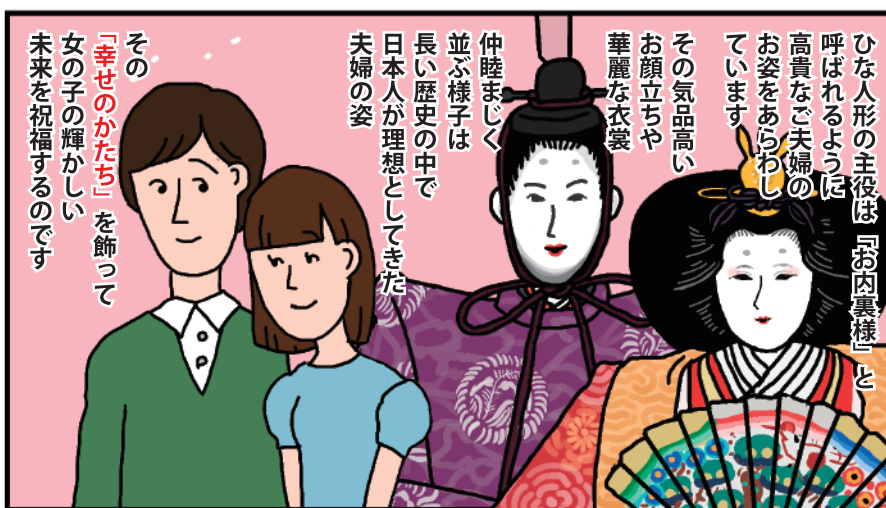
なぜひな人形を飾る？

ひな祭りのはじまり



三月三日の桃の節句は、
ひな人形を飾ってお祝いする
女の子のお祭り。
日本に古くから伝わるこの風習。
どのようにして
始まったのでしょうか。





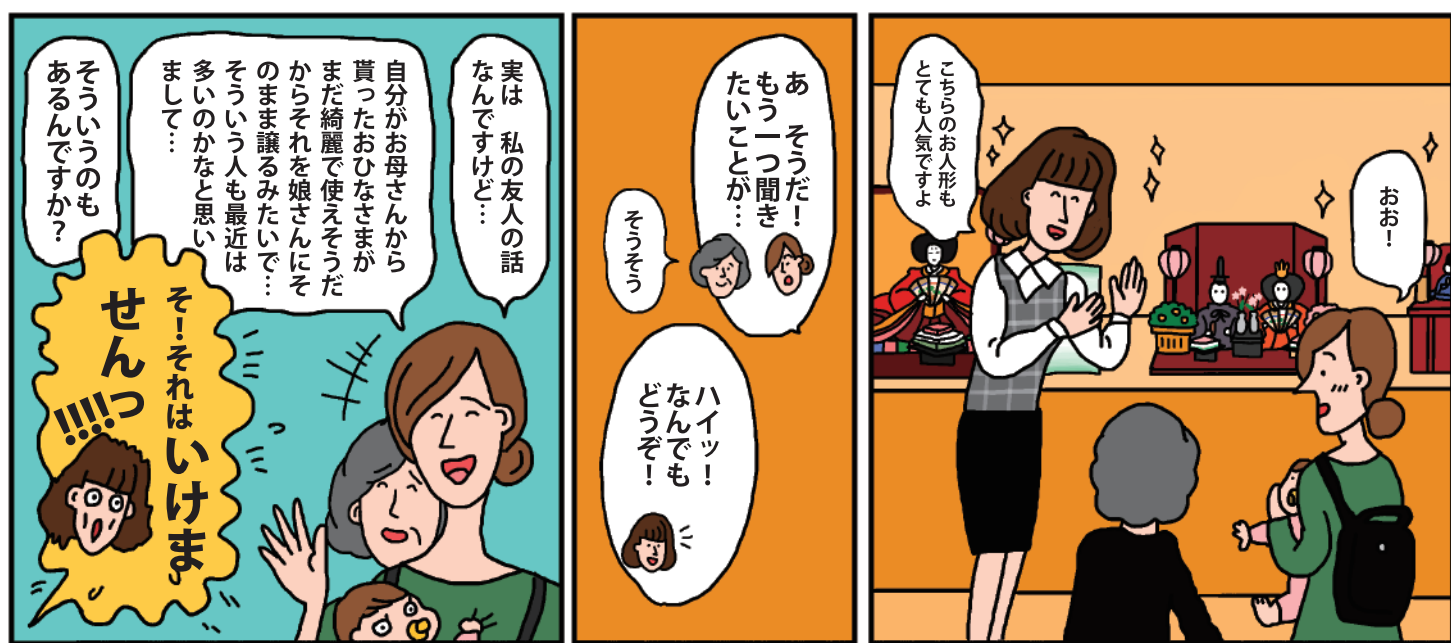
第二章

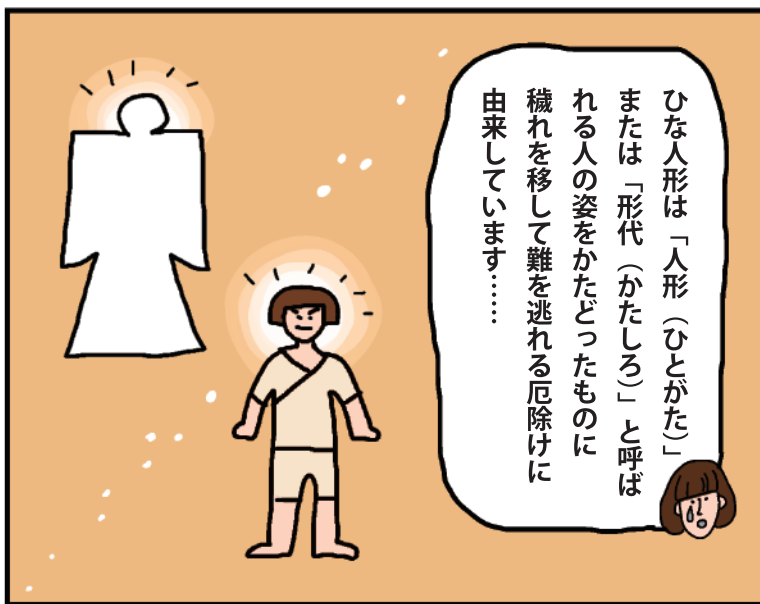
意外と知らない

ひな人形のルール

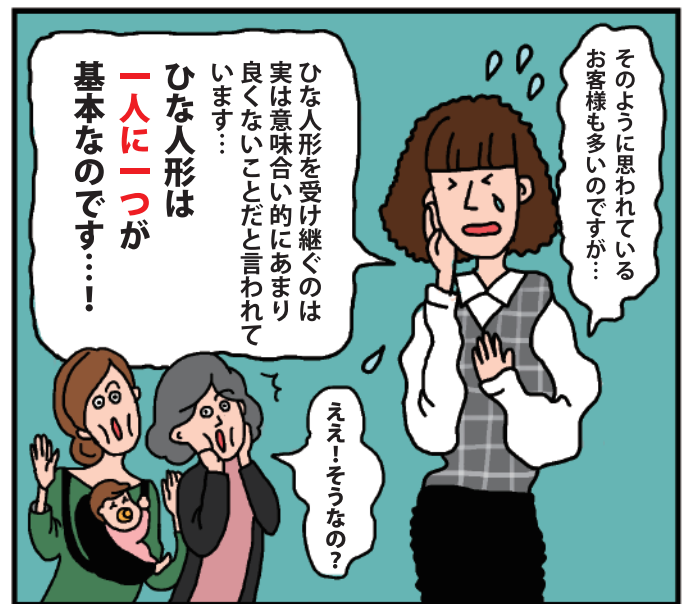


三月三日のひな祭りには、
なんとなくひな人形を飾って
お祝いしている方も
多いのではないだろうか。
ひな人形を飾るのには、
ちゃんとした意義・いわれが
あります。





ひな人形は「人形（ひとがた）」または「形代（かたしろ）」と呼ばれる人の姿をかたどったものに穢れを移して難を逃れる厄除けに由来しています……

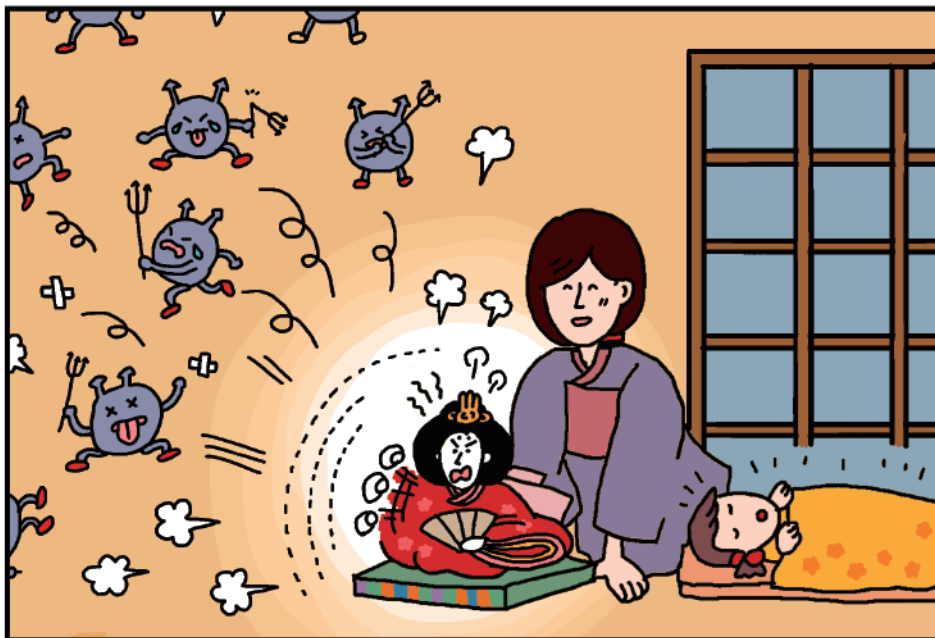


そのように思われているお客様も多いのですが……

ひな人形を受け継ぐのは実は意味合い的にあまり良くないことだと言われています……

ひな人形は一人に一つが基本なのです……!

ええ! そうなの?



ひな人形は大切な子供を守ってくれる**お守り**のような存在。女の子が無事に成長したところで、本来の役目は終わります。ですので、ご自身のひな人形をそのままお子様やお孫様などへ引き継ぐことは、あまり良いことではないのです。



つまり……

昔のひな人形が家にあってもそれは**おばあ様やお母様の身代わりをして役目を終えた人形**です

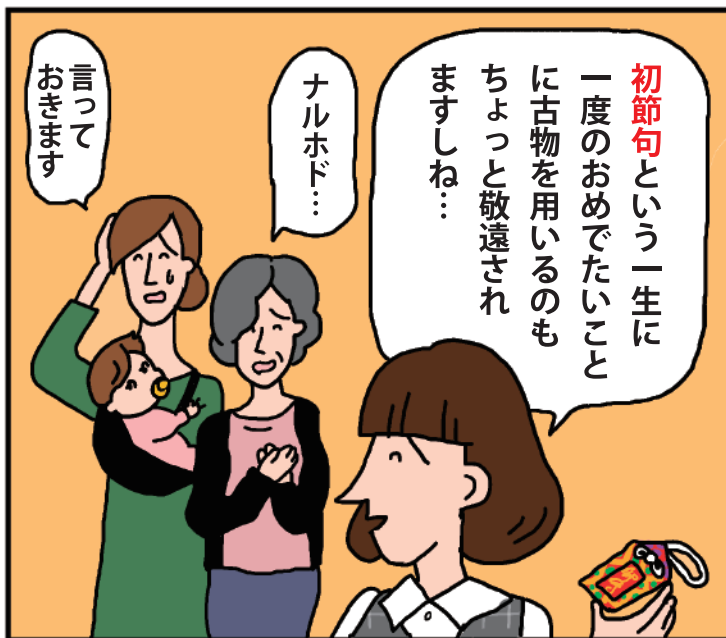
おひさま、これから

あなたを……

私はお母さんの人形だから守れません……

私を……

おばあ様やお母様のひな人形をお子様のお人形と一緒に飾り続ける事は問題ないのですが一度役目を終えた人形はお子様の身代わりにはならないのです……



ひな人形のお話

✿ ひな人形を飾る意義

ひな人形は、女の子の誕生を祝うとともに、その健やかな成長を祈って飾ります。古代中国では、月と日に同じ奇数が重なる日を忌み嫌い、その日は邪気を祓う様々な行事がありました。その影響を受けた日本では、3月3日に厄除けの儀式を行うだけでなく、子どもたちが人形で遊ぶようになり、その楽しいおまつりを、いつしか「ひなまつり」と呼ぶようになりました。ひな人形の主役は「お内裏様」と呼ばれるように、高貴なご夫婦のお姿をあらわしています。その気品高いお顔立ちや華麗な衣裳、仲睦まじく並ぶ様子は、長い歴史の中で日本人が理想としてきた夫婦の姿。その「幸せのかたち」を飾って、女の子の輝かしい未来を祝福するのです。



✿ CHECK : ひな人形は一人に一つが基本

ひな人形は、「人形（ひとがた）」または「形代（かたしろ）」と呼ばれる、人の姿をかたどったものに穢れを移して難を逃れる厄除けに由来しています。つまりひな人形は大切な子供を守ってくれるお守りのような存在。女の子が無事に成長したところで、本来の役目は終わります。役目を終えた雛人形をそのまま飾り続けることに問題はありません。しかし、ご自身のひな人形をそのまま他の人（子供や孫など）へ引き継ぐのは誤りとされています。人形（ひとがた）や形代（かたしろ）は、持ち主の災厄を引き受ける「身代わり」。お守りと同様に、1人に1つ用意するものです。祖母や母親のひな人形が家にあっても、それは祖母や母親の身代わりをして、役目を終えた人形。子供には、「その子の災厄を引き受けてくれる」新たなひな人形を用意する必要があり、その子専用の身代わりになる人形があるということが大事なのです。

✿ CHECK : 二人目が産まれた際もひな人形のご用意を

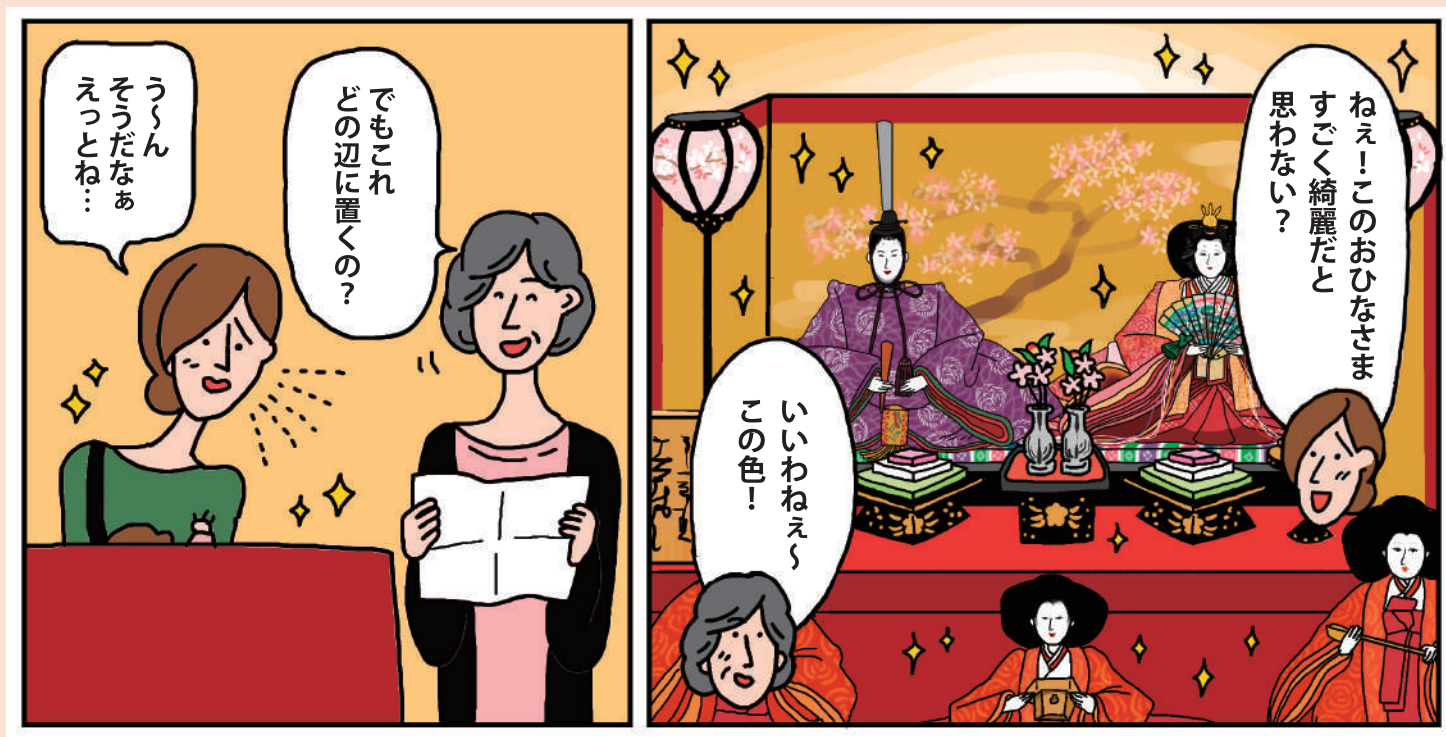
二人目の娘が生まれたら、もう1つ新しいひな人形を用意してあげるのが良いでしょう。長女のために用意したひな人形は長女の災厄を引き受けるもので、次女も一緒に守ってもらおうという願い方は誤りです。とはいえ、ひな人形を2組飾るのが難しいご家庭も多いことでしょう。その場合は、二人目のお子様専用の守り神となるような人形を新たに用意しましょう。

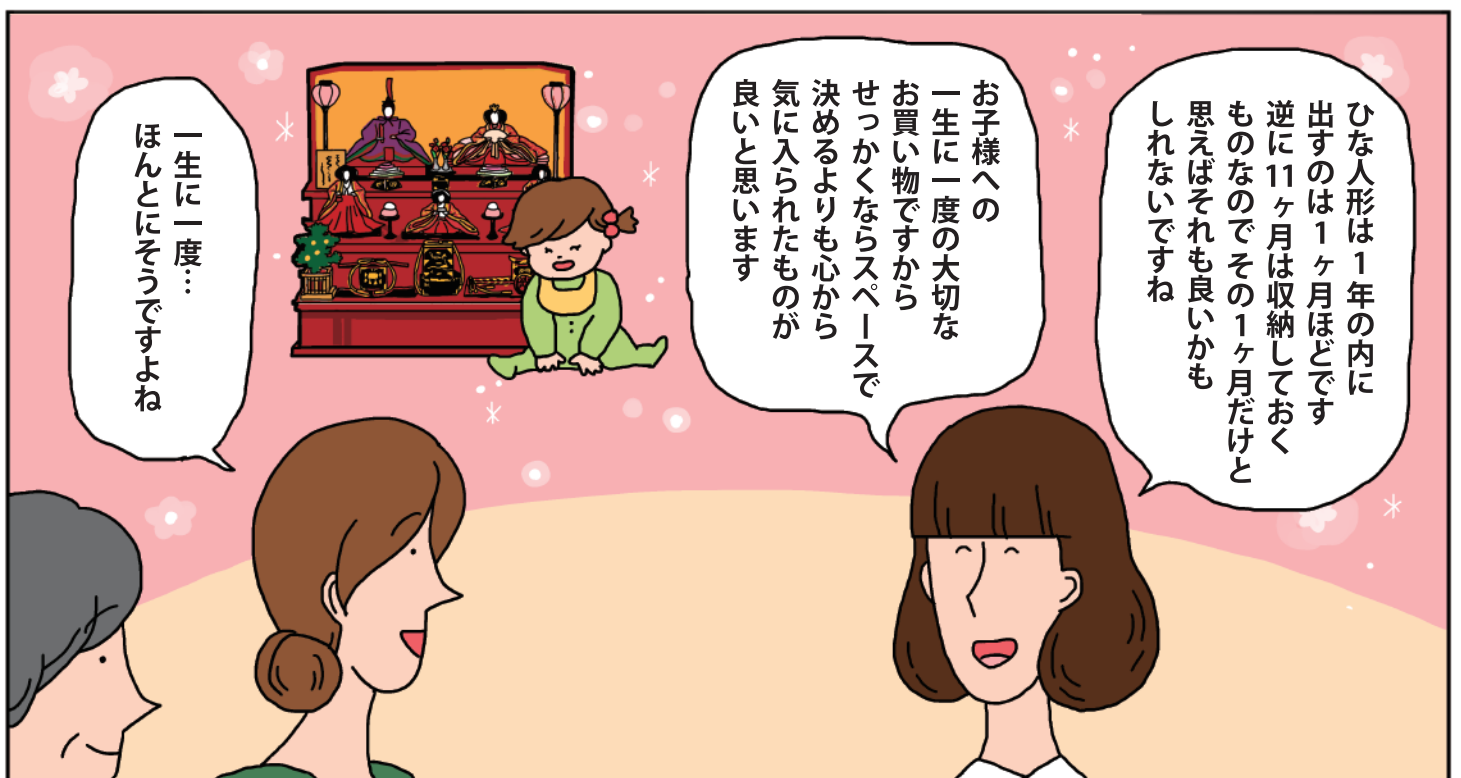
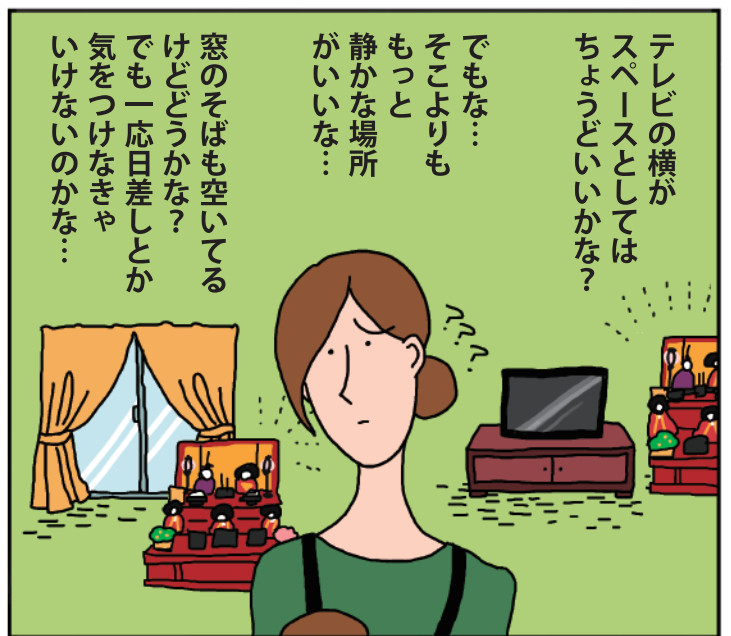


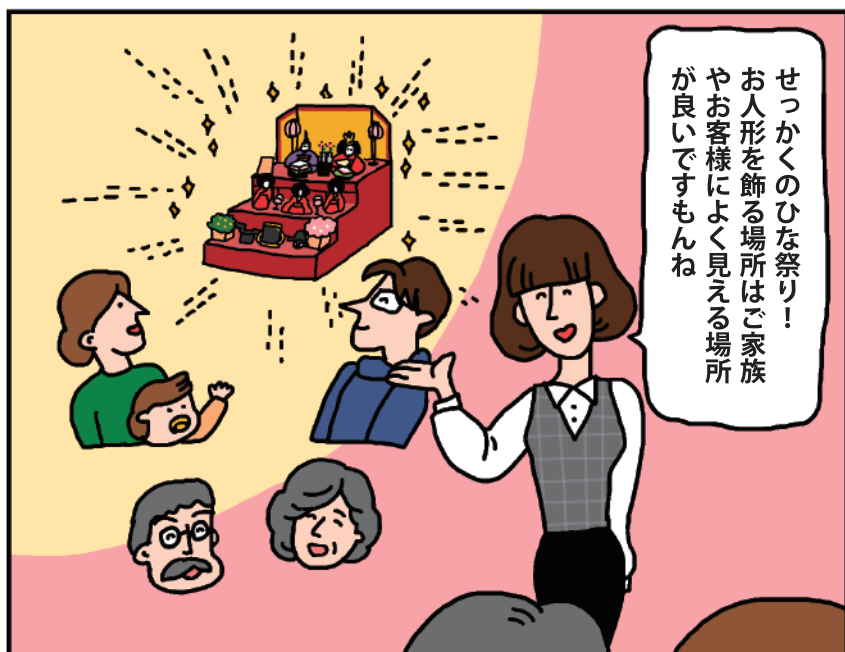
第三章

ひな人形を買う前に

ひな人形は、大小様々なサイズや多種多様なデザインがあります。まずは、飾る場所をいくつかイメージしてからひな人形の種類を選びましょう。また、ひな人形は11ヶ月ほど収納しておくもの。収納場所も予め決めておくと安心です。







コラム 2 ひな人形を選ぶ前に



* 飾る場所をいくつかイメージする

ひな人形は大小様々なサイズがあります。飾る場所を数箇所イメージしておくといいでしょう。そうすることで、お人形選びに幅ができ、お気に入りのお人形がきっと見つかるはずです。ひな人形を飾るのは1ヶ月ほどですから、その間だけ何か移動できるものなどあれば、ずらして飾ることもいかがでしょうか。

* 飾る場所の注意点

お人形を飾るなら、ご家族やお客様によく見える場所がいいと思います。ただし、直射日光が当たる場所は、衣裳の変色や退色の原因にもなりますので、なるべく避けましょう。



* 収納スペースも決めておきましょう

ひな人形は、1年のうち約11ヶ月間は収納するものです。収納スペースを確保しておきましょう。直射日光が当たらず、湿気の少ない場所が理想的です。ただ収納スペースはどのご家庭でも確保されるのがなかなか難しいという声をお聞きします。たとえばお人形以外の付属品は、市販の収納ボックスなどに入れてコンパクトに収納することもひとつの方法かと思います。

＊ 第四章

ひな人形を選びましょう

女の子の健やかな成長と
幸せを願って飾るひな人形。
ひな人形の作りは
大きくわけて2種類あります。
飾る場所の広さや収納のしやすさ、
素材、デザイン等を考慮しながら
選ぶことが大切です。



ひな人形の種類

衣裳着人形（いしょうぎにんぎょう）

木材やワラを組んで作った胴体に手足を取り付けて、華やかな衣裳を着せ、頭（かしら）を付けたものを衣裳着人形と呼びます。伝統的な日本人形を代表する作り方で、ひな人形と言えば衣裳着人形を指すのが一般的で、みやびな顔立ちと華やかな衣裳美がポイントです。

木目込人形（きめこみにんぎょう）

桐の木を細かく砕いて粉末にしたものに正麩糊（しょうふのり）を混ぜ、粘土状にした「桐塑（とうそ）」で造形した胴体に細い溝を筋彫りします。そして、衣裳となる布を表面にかぶせその端々をこの溝に押し込む（木目込む）ように仕上げたものを木目込人形と呼びます。衣裳着人形に比べ、造形的な仕上がりが特徴です。

ひな人形タイプ別おすすめ案内



豪華で、立派なものが欲しい

七段飾り

男雛、女雛、三人官女、五人囃子、隨身、仕丁と15人の人形が勢ぞろいしたもっとも豪華な雛飾り。飾り段は伝統的な赤い毛氈（もうせん）を用いたもののほか、塗りを施したものもあります。



七段ではなく三人官女が付いたものが良い

三段飾り

「三人官女が付いた雛飾りがほしい。でも大きな七段はお部屋に飾れない……」という方に最適です。ご家庭でも簡単に組み立てられるものが多く、リビングに置いても邪魔にならない小さなサイズもあります。



男雛と女雛だけのシンプルなもの欲しい

親王飾り

男雛と女雛のみの雛飾りです。サイズは様々で、出し入れしやすいコンパクトなものから、子供が座ったくらい大きなサイズのものまであります。また、親王飾りには立ち姿のものもあり、座り姿のひな人形とはまた違った雰囲気を楽しむことができます。



一つの箱にしまえる、コンパクトなもの良い

収納飾り

飾り台になる収納箱に人形や道具をすべてしまうことができるタイプ。飾り台に高さがあり、直接床に置くこともできるため、見栄えよく飾れます。男雛と女雛のみのものと、三人官女まで揃った五人飾りのものがあります。収納箱の形も四角から六角、階段状のものなど様々です。



ペットがいるのですが、留守中が少し不安…

ケース飾り

ケース飾りは、ガラスまたはアクリル製のケースの中に人形や道具を納めたタイプのひな人形です。人形や道具があらかじめ固定されているので、出し入れの手間がかかりません。埃が付きにくいとお手入れも非常に簡単です。（固定されていないものもあります）

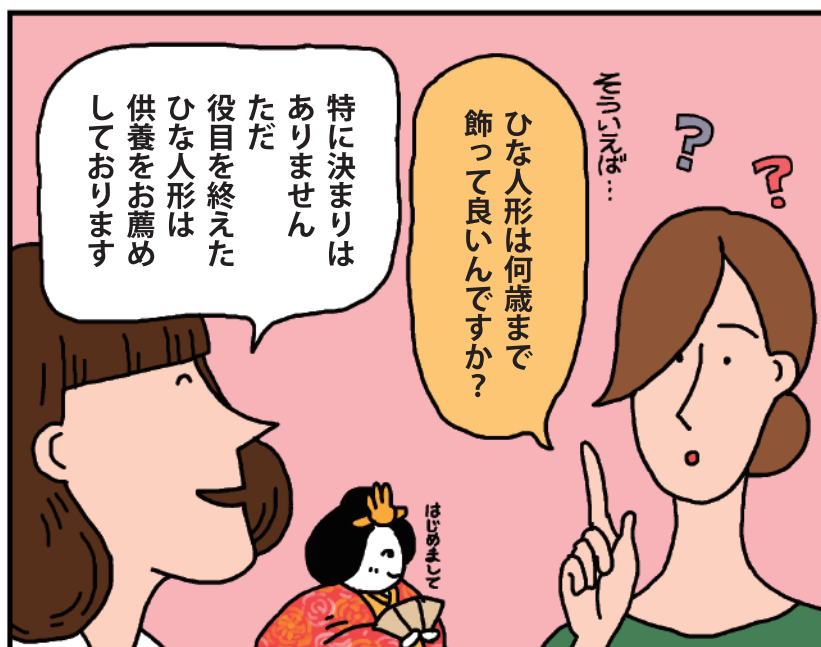
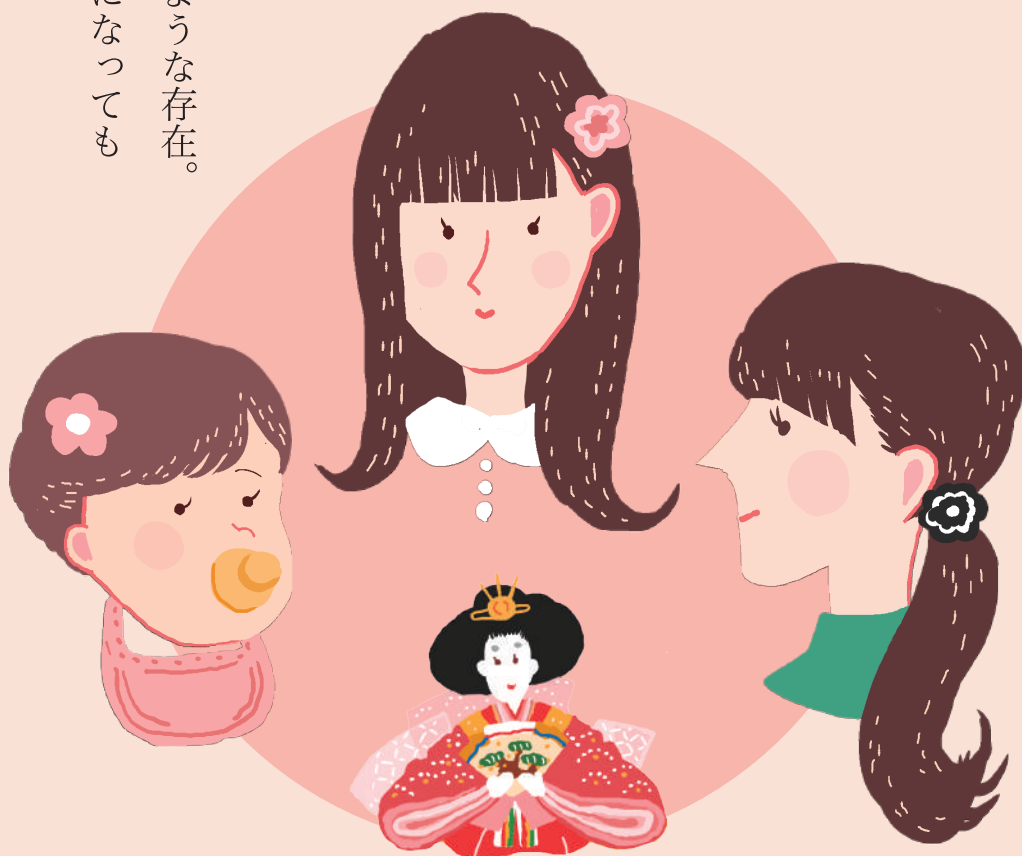


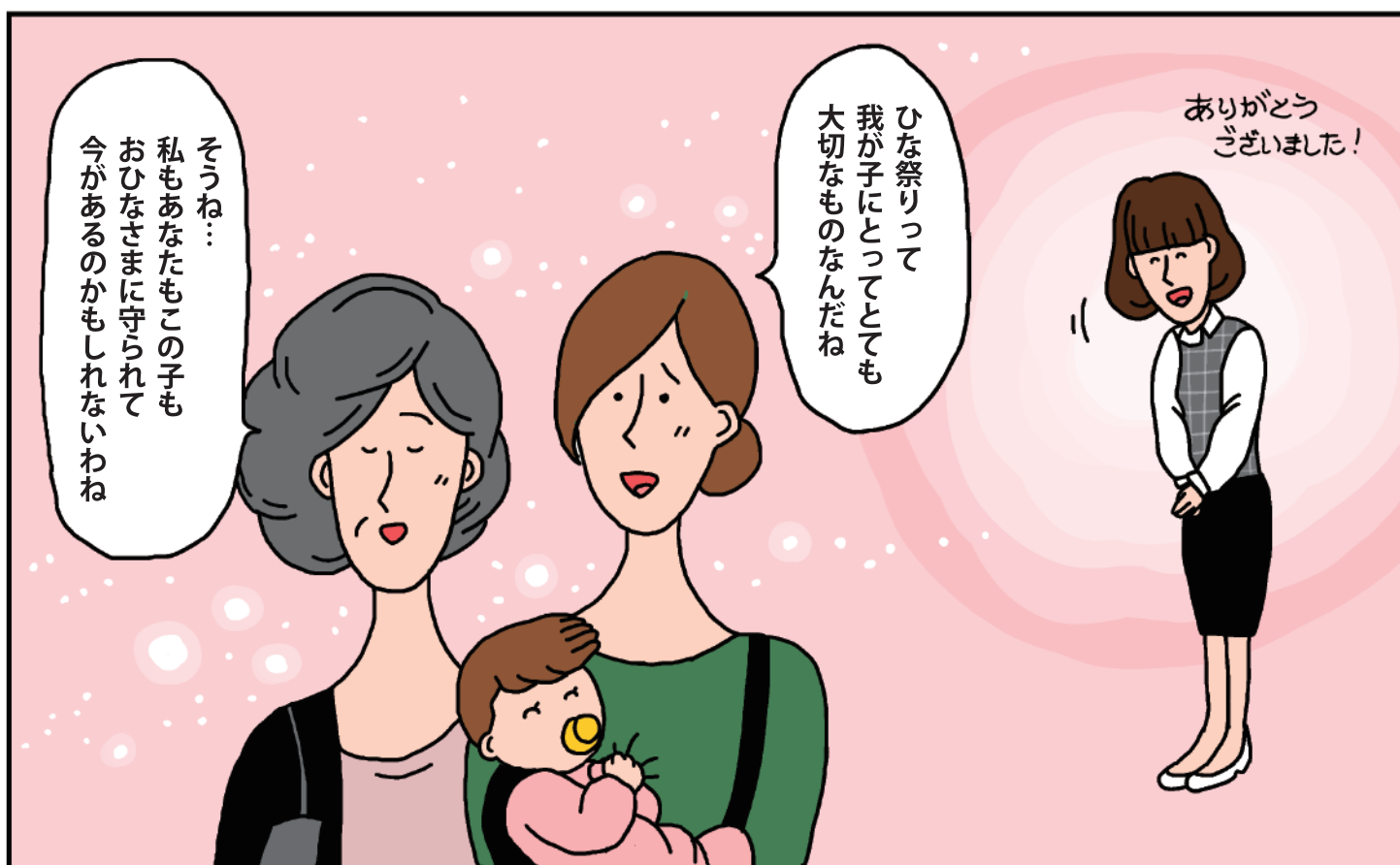
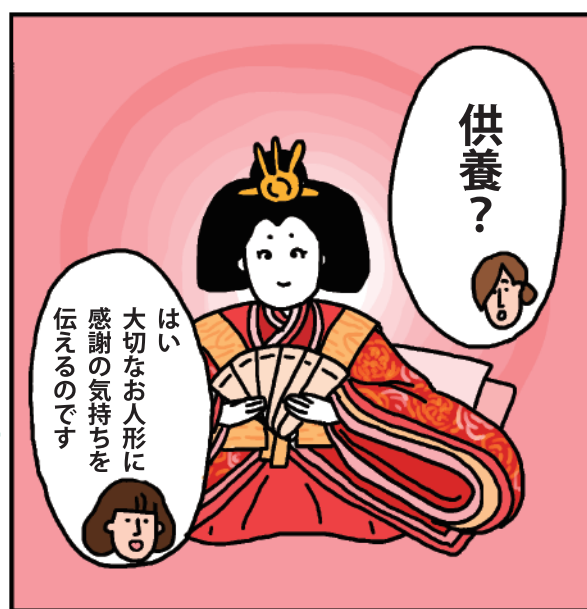
＊ 第五章

ひな人形は、何歳まで

飾るもの？

いつまで飾るかについて、特に決まりはありません。ひな人形は子供の成長を見守ってくれる守り神のような存在。親にとって子供はいくつになっても心配な存在ですから、ずっとひな人形を飾り続けても問題ありません。

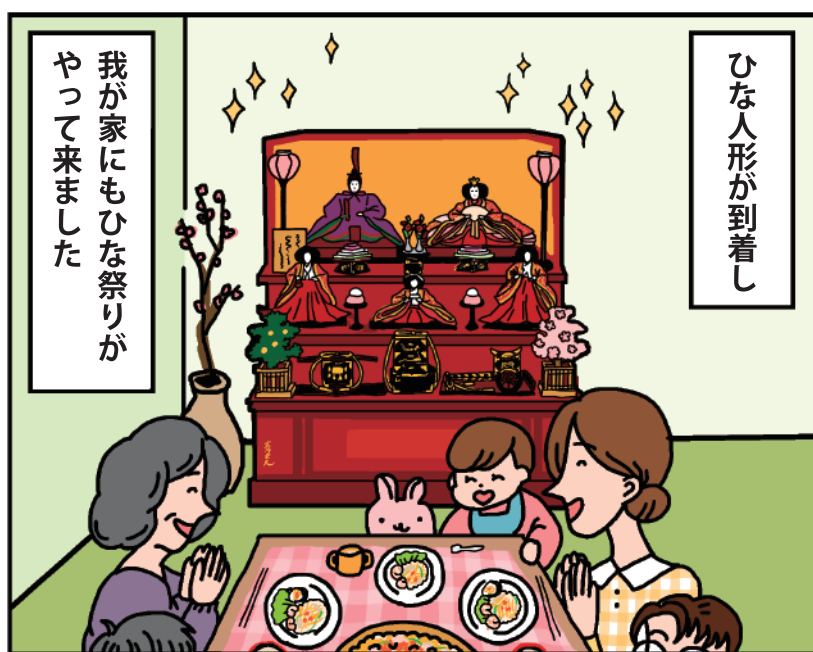


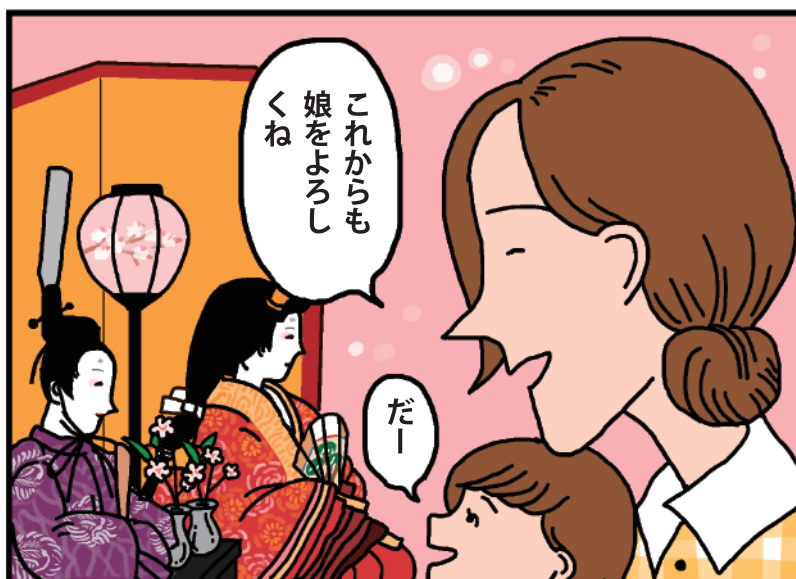


第六章

ひな人形のお手入れ

江戸時代や明治時代のひな人形が
今なお受け継がれている例もあるように、
扱いや保存の方法がよければ
いつまでも美しさを保つことができます。
大切なおひなさまの扱い方、
しまい方を覚えましょう。





コラム 4

ひな人形のお手入れポイント

＊ ホコリをはらってからしましょう

よく晴れた日に、一度外気にあててから羽根ばたきでホコリをはらい、しましょう。



＊ お顔や金具には 直接触れないようにしましょう

おひなさまをしまうとき、お顔や手、金具などに直接ふれないように注意しましょう。指の脂分がお顔や手の汚れ、金具のサビの原因になります。薄手の手袋を着用して扱いましょう。

＊ 薄紙で包んで守りましょう

お人形をしまうときは、やわらかい白い薄紙をボディの後ろからあて、特に髪型をカバーするようにふんわりと包みこみます。お顔の部分は、折りたたんだ薄紙で覆い、上から細長く切った紙をあてて後ろに回し、ねじってとめます。尚、当社では、衣裳着人形の全てに便利な顔あて紙と、お人形のボディのホコリ防止に不織布のカバーをお付けしています。



＊ 型くずれを防ぎましょう

衣裳着人形の袖や袂には、ふくらみがつぶれないように、薄紙を小さく丸めて入れておきます。お人形は一体ずつ薄紙でつつみ、箱に並べたら、型くずれしないようそれぞれの隙間に包装紙などを丸めた詰め紙を軽く入れてください。



* ひな人形はいつ頃飾るのでしょうか？

「この日から人形を飾り始める」といった明確なルールはありません。ひとつの基準としては節分以降、立春過ぎから2月の中旬あたりが雛人形を飾るタイミングと言えます。そして、遅くとも桃の節句の1週間前までには飾るのがよいでしょう。立春過ぎがひな人形を飾る目安とされるのは、それ以前には正月や節分などの行事があるため、早めにひな人形を飾ってもまったく問題はありません。ひな人形はこの時期しか飾られませんので、お子様のためにもできるだけ長い期間飾ってあげることをおすすめします。

* 男雛、女雛の左右どちらがホント？

江戸時代までの日本の礼法では、結婚式で新郎・新婦が並ぶ場合、左（向かって右）が男性でしたが、明治時代になって欧米のマナーが日本に入り、現在では右（向かって左）が男性に定着しました。昭和3年の昭和天皇の御大典（即位の礼）のお写真で天皇が皇后の右にお立ちになったことから、おひなさまもその影響を受け、男雛を右（向かって左）に飾るようになりました。しかし京都のように古い習慣を大事にする土地では、現在も昔風に飾っています。つまり関西（京都）は昔のルール、関東は今のルールに従っている訳ですから、どちらが正しくてどちらが間違いとは言えません。標準的な飾り方を大きく逸脱しなければ、古式でも現代式でもそのお家ごとに自由に飾ってよいのです。

* ひな人形をしまうのが遅れるとお嫁に行くのが遅くなるって本当？

昔からよく言われていますが、もちろん科学的な根拠のあることではありません。しかし、ひな祭りは本来お節句という1日だけの行事。ひな祭りが過ぎたら、てきぱきとすぐに片付けを始めるような働きものの女性なら、早く良縁に恵まれるはず・・・との考えから、このような言い伝えが生まれたのではないのでしょうか。

* 初節句のお返しはどのようにしたらよいのでしょうか？

基本的に、初節句に頂いたお祝いに格式ばったお返しは必要ありません。母親の実家や近親者からお人形を贈られたのなら、初節句のお祝いの席にお招きするのがいちばんですし、遠方なら、お節句の後、おひなさまと一緒に写した赤ちゃんの写真を添えたお礼状を早めに出しましょう。お返しをする場合は、お節句にちなんだ祝菓子や日常重宝するような品を選んでお子様の名前で「内祝」とし、必ず一筆入れたお礼状を添えて贈りましょう。

創業正徳元年（一七二一年）
江戸で最古の人形の老舗



東京・浅草橋

<https://www.yoshitoku.co.jp/>